

四季の歌

俳句・短歌教室の詠歌紹介

ともしび短歌会短歌詠草

鶯と競ひて声を張り上げる木もれ日の道に心晴れたり
ソラメは空に向かひて実をつくる七十路で知る言葉の起り
母の日に届けられたる商品券「花」買ふ予定は「肉」に変われり
連休を小布整理に精出して思い出の布コスターとなす
厨より菜をきざむ音わが部屋に聞こえてくれば今日が始まる
老人の「ふれあい交流」のゴルフなる芝草吹くグラウンドにギヤラーわきたつ
嬉しくてたまらぬような宙返り幾千里を燕わたり来るや
時代移り遠賀川の水深く澄み魚の増えしか白鷺の舞ふ

桑野 昭子
高村 三也
村上 美幸
福田キヨ子
白石 信子
越智 早苗
三村 和子
福田 昌

赤池隣保館句会

池田一歩選

ポツポツ弾けて夏の始まりぬ
石斛の花を宿して古木かな
青梅の尻の美しき色をして
夕焼の子等の唄声花いちもんめ
夫の忌を修す集ひや夏座敷
小走りの曾孫を追ふて園薄暑
老鶯や花園にひらく野鳥展
堰音に生まれる風や忍冬
初螢人は優しく嘘を言ふ
もつれ合ひ夏蝶高く雨後の空

小場 妙子
熊谷カツミ
吉田 弘
千手 弘子
大久保幸子
水上 翠人
米原ふさ枝
芳野もと子
石井 恵子
池田 駒女

福智町金田公民館俳句教室

岩井鬼童選

露座仏の黙の歳月苔の花
短夜や土産話に尾鰭付け
姫沙羅は天涯の花英彦の花
梵鐘の余韻になびく藤の花
桑の実や遅れし人の舌赤し
草茂り牛馬やすらぐ阿蘇九重
血が騒ぐ祭囃子に子ら駆ける
夏めくや萩六島の海の色
葉桜や遠ざかりゆく山頭火
野茨にピンクも有りぬ摘まずおく

松岡 蒿枝
建部三由紀
長副美恵子
西田 真美
宇留島伸子
安田 健一
岩井 童子
小野 美幸
加藤きみ子
山本 空木

方城句会

池田一歩選

蛍とぶ永代経の夜にかな
峠越え棚田はすでに植え終わり
廻り道想ひ出の沢堂飛ぶ
横顔のやさしき女朴の花
目が覚めて元気に感謝若葉風
ひたすらに命燃やして舞ふ螢
源じいの森の謂れの螢かな
客迎ふ夏座布団のウキウキと
ウミガメの産卵後の砂の道

白石 凡子
杉 フジエ
長尾 冨子
藤井耿之介
渡邊 一枝
尾崎 和子
木村 誠一
倉石嘉代子
有川 信子

福智の風

▶写真の加工技術が向上し、今ではスマホでも影を消したり切り抜いたり、修正テクニックが一般化しています。そんな時代にあえて逆戻りしてみようと、職員採用試験(P10)の写真はアナログ感を出しつつ撮影。新採職員に河川敷で寝そべってもらい、「ウキウキ」と「浮く」をかけた抜群のセンス…。ん〜、これはセンスが古いだけかも知れません。(相原)

▶福智町の一番の魅力は「人のあたたかさ」だと思います。今回の特集を担当して、改めてそのことを実感しました。福智町出身ではない私は人脈が少ないのですが、一人に聞くとそこからどんどんつながり、たくさんの人に協力していただきました。本当に感謝の気持ちでいっぱいです。今後も少しでも町の人に役立つ広報紙を目指して頑張ります。(黒崎)

写真が語る
ななの写真館



夏はやっぱりあの味で
提供者●羽田野 憲治さん
撮影日●不明

暑くなると無性に食べたくなるスイカ。実は栄養豊富で、疲労回復の効果があり、夏バテに最適です。今も変わらずあの味が恋しくなるのは、「体が知っている」からかもしれません。

昔の写真を探しています！
岡 総務課広報・広聴係
☎22-0555

まちの図書だより

「図書館・歴史資料館準備室」
からのお知らせ No.2

ご利用ください。まちの図書室

本の情報と紹介

中央公民館図書室 ☎28-4100
(福智町赤池 970 番地 3)

開室時間/9時~17時

休日/毎週②・毎月第3③・④・年末年始
蔵書整理期間(不定期)

貸出期間/2週間[1度に1人5冊まで]

寄贈本を受付中!

あなたのオススメする本や、ご自宅に眠っている本などを図書室にいただけませんか。みなさんからの寄贈本を下記の期間で受け付けています。お問い合わせは中央公民館図書室(☎28-4100)までご連絡ください。
期間:7月1日~31日 ※休室日を除く

Le f's read!

まちの図書司書セレクション

『ボタ山であそんだころ』

著/石川 えりこ
出版/福音館書店

炭坑町に生まれた「わたし」の体験をもとに、昭和の炭坑や当時の子どもたちの様子が生き生きと描かれています。炭坑を知っている世代も、知らない世代も、家族みんなで読んでいただきたい絵本です。

『いろは判じ絵』

著/岩崎 均史
出版/青幻舎

江戸時代に大人から子どもまで庶民の間で大流行した、絵を見て答えを考える「なぞなぞ」の本。浮世絵師が趣向を凝らした、楽しい珍問・難題が満載です。江戸時代の脳トレにチャレンジしてみませんか?



「鳥越館長を囲む会」を初開催!

→海外の事例なども紹介し、新館の未来像を語る館長。



6月12日に赤池支所で「鳥越館長を囲む座談会」が昼夜2回開かれ、あわせて50人の参加者と鳥越館長が新しい図書館・歴史資料館の建設に向けた意見交換を行いました。参加者からは「集客は見込めるのか」「立派な施設ができて人も来ないと意味がない」といった建設を心配する声や、「完全防音の録音室や映画が見られる視聴覚設備を」という要望、また「全国にないようなサービスを」「誰でもいつでも気軽に立ち寄れる施設に」といった期待の声も多く寄せられ、昼・夜の部ともに2時間を越す熱い議論を展開。囲む会を終えた鳥越館長は「いただいた想いを「聞くだけ」で終わせず、できるだけ新館建設に盛り込めるよう全力を尽くしたい」と、まちの新しい拠点づくりを担う決意を新たにしていました。

図書館・歴史資料館の設計に関する

「住民説明会」の開催決定!

「赤池支所がどのように生まれ変わるのか」「みなさんの想いをどう設計に組み込んでいくのか」「みなさんにどんな協力と関わりを求めるのか」……。図書館・歴史資料館「ふくちのち」の設計者を交え、設計提案についての説明会を開催します。当日は嶋野町長や辻村教育長、図書アドバイザーの花井裕一郎氏なども参加予定。この日、新しい拠点づくりのすべてを説明します。みなさんぜひご参加ください。



一級建築士事務所
大西麻貴+百田有希/o+h

日時 7月17日(金) 開場:18時30分~
開演:19時~

場所 福智町地域交流センター
(伊方4478番地1)